

平成27年度第1回<sup>もり</sup>森林の未来を考える懇談会資料

## 第69回全国植樹祭の開催決定について

- 全国植樹祭の開催県決定
- 全国植樹祭の会場決定
- 今後の取組について

平成28年1月20日

福島県農林水産部森林保全課



# 第69回全国植樹祭の開催決定について

平成28年1月20日

森 林 保 全 課

## 1 全国植樹祭の開催県決定

平成27年8月6日に開催された公益社団法人国土緑化推進機構（以下「機構」）の理事会において、平成30年に開催される第69回全国植樹祭の開催県を福島県とすることが決定されました。

東日本大震災以降、被災地で初めて行われる全国植樹祭は、本県が震災と原子力災害から復興し、緑豊かなふるさとの再生を進めていく上で極めて重要なシンボルとなるものです

なお、本県での開催は、昭和45年に猪苗代町天鏡台で第21回大会が開催されて以来、48年ぶり2回目となります。

第21回大会（昭和45年）時の様子



## 2 全国植樹祭の会場決定

平成27年12月2日に県と機構との協議が整い、第69回全国植樹祭の開催会場が正式に決定しました。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、両陛下によるお手植え、お手播き等の行事が行われる式典会場については、東日本大震災による津波被災地であり、参加者に地域の復興状況を見ていただける「南相馬市原町区<sup>しどけ</sup>地内の海岸防災林」としました。

決定に当たっては、周囲より地盤高が高く、津波で流出した海岸防災林の復旧状況を見渡せること、道路・水路など土地利用による制限がなく、式典広場や周辺施設など大会運営に必要となる用地の確保が可能であること等から、式典会場に相当であると判断しました。

なお、荒天の場合の会場については、南相馬市の多目的施設である「南相馬市スポーツセンター」とし、さらに、参加者の記念植樹会場については、式典会場の周辺から今後選定してまいります。

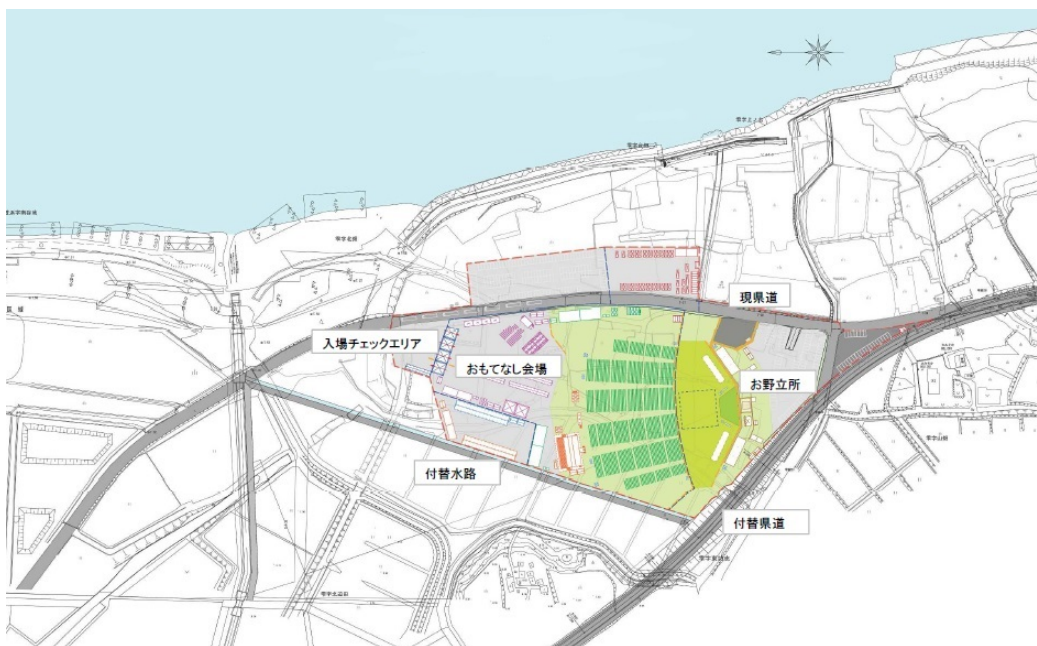
記者会見の様子



会場周辺図



式典会場 施設配置計画図



式典会場のイメージ図



### 3 今後の取組について

様々な取組を通じて全国植樹祭のPR活動を行い、開催気運を盛り上げていきます。

#### ○ 苗木のスクールステイ

全国植樹祭や地域の緑化行事で植樹するための苗木を子供たちに育ててもらい「苗木のスクールステイ」を平成27年度、平成28年度に計240校において実施する。

<平成27年度実施状況等>

・取組校 計105校

(方部別内訳) 県北8校、県中12校、県南14校、会津25校、  
南会津10校、相双27校、いわき9校

・スケジュール

平成27年9月～ どんぐり拾い

10月～ ドングリ播種、水やり等管理

平成28年3月頃 幼苗配布、水やり等管理

～～～育苗管理～～～

平成29～30年 育てた苗を、地域の緑化活動や全国植樹祭の記念植樹において  
植樹する。

<今後の予定>

平成28年度は秋季より135校を目標として募集を開始し、実施校はドングリ拾い、播種及び幼苗の育苗を行い、平成30年に地方緑化活動や、全国植樹祭記念植樹において植樹を行う。

スクールステイ実施校における様子



#### ○ 苗木のホームステイ

全国植樹祭や地域の緑化行事で植樹するための苗木を県内の家庭や企業等において育てていただく「苗木のホームステイ」を平成28年度に実施する。

<実施計画>

・家庭 700戸(県内7方部で各100戸)

・企業等 100団体

<スケジュール>

平成28年春季 家庭及び企業等に対しホームステイの募集開始

〃 秋季 幼苗の育苗

～～～育苗管理～～～

平成30年 育てた苗を、地域の緑化活動や全国植樹祭の記念植樹、更には全国植樹祭開催に合わせて家庭の庭や企業等の敷地に記念植樹する。

## ○ 森林と触れ合う交流会

子供たちが緑と触れ合う機会を通して、森林づくりへの関心を高め、森林や自然環境に対する理解を深めるとともに、子供たちの豊かな心と健やかな体を育むため、県内及び県外交流会を平成27年度から平成29年度まで開催する。

<平成27年度実施状況>

(1) 県内交流会

- ・日 時 平成27年8月8日 10時～
- ・場 所 ふくしま県民の森フォレストパークあだたら
- ・参加者 250名
- ・活動内容 オリエンテーリング、自然観察会、木工クラフト ほか

(2) 県外交流会（参加者 計22名）

- ・岩手県 1名（平成27年7月28～29日） 森林学習、木工教室、キャンプ等
- ・秋田県 15名（平成27年8月4～5日） 森林学習、海辺観察等
- ・岐阜県 6名（平成27年10月9～10日） 活動発表、交流集会等

<平成28年度の予定>

(1) 県内交流会

8月に県内森林公園等で開催予定。

(2) 県外交流会

先進的な活動を行っている他府県の交流会（3会場程度を予定）に児童等を30名派遣する。

平成27年度「森と遊ぶ交流会」



## ○ リレー植樹

平成28年度から平成29年度にかけて、全国植樹祭の式典が行われる相双方部を皮切りに、県内各方部の地方緑化推進委員会と連携して植樹を行い、最後に相双方部に戻るリレー植樹を実施する。

実施に当たっては次の開催地へバトンを引き継ぎ、全国植樹祭の開催意義を浸透させるとともに、県民参加の森林づくり活動の活性化を図る。

<実施予定>

平成28年度 相双、いわき、県南、会津

平成29年度 県北、県中、南会津、県北

## ○ うつくしま育樹祭

本県における緑化推進のシンボル行事として平成15年度から毎年開催しており、東日本大震災のあった平成23年度以降は森林に親しむことで「心のやすらぎ」や「心の拠り所」としての緑を感じ、美しい故郷「ふくしま」を一日も早く取り戻せるよう「浜・中・会津」の県民が一堂に会する交流の場としている。

平成26年度からは全国植樹祭のプレイベントとして位置付け、その開催気運を高めるため周知・PRを図っている。

また、平成25年度からは鳥取県が実施している「とうほく・とっとり苗木の里帰りプロジェクト」に賛同し、本県産の種子から育てた苗木の寄贈を受け、併せて記念植樹を行っている。

<平成27年の実施状況>

- ・日 時 平成27年11月7日 10時～
- ・場 所 いわき市フラワーセンター
- ・参加者 380名
- ・活動内容 育樹活動、植樹活動、木工クラフト、自然観察、竹箒づくり、鋸目立て実演、丸太切り

<今後の開催予定>

方部別の開催順については、中通り・浜通り・会津のローテーションで予定。

- ・平成28年度 県南方部
- ・平成29年度 相双方部
- ・平成30年度 南会津方部

平成27年度 うつくしま育樹祭



## ○ シンボルマーク及び開催テーマ

第69回全国植樹祭を東日本大震災及び原子力災害で甚大な被害を受けた本県が、緑豊かなふるさとの再生を進めていく上での大きなシンボルとするため、大会にふさわしく、開催を広くアピールするシンボルマーク及び開催テーマを公募により定める。

### (1) シンボルマーク

＜これまでの取組＞

平成27年10月29日	専門委員会第1回会議開催 ・募集要領及び審査要領を決定
10月30日	公募開始（～12月25日締切） ※応募総数324点
平成28年1月8日	専門委員会委員による予備審査開始

＜今後の予定＞

平成28年2月上旬	専門委員会第2回会議開催 ・シンボルマーク案内定
6月	実行委員会第3回総会開催 ・シンボルマーク決定 商標登録出願

### (2) 開催テーマ

＜これまでの取組＞

平成27年12月3日	専門委員会第1回会議開催 ・募集要領及び審査要領を決定
12月4日	公募開始（～平成28年2月19日締切）

＜今後の予定＞

平成28年2月下旬	専門委員会委員による予備審査開始
3月	専門委員会第2回会議開催 ・開催テーマ案内定
6月	実行委員会第3回総会開催 ・開催テーマ案決定 国土緑化推進機構へ協議 ・開催テーマ決定

## ○ 「植樹祭だより」

全国植樹祭の開催準備の状況、記念事業の実施状況等について情報を発信する「植樹祭だより」を発行する。

発行回数は、平成28年度1回、平成29年度3回、平成30年度1回の計5回を予定している。